

令和6年産 紀南の梅産地情報

2024/04/12

1. 4月10日の定点調査では、着果数は各品種とも前年・平年より少なかった。暖冬による早期開花で不完全花の発生が着果に大きく影響したと考えられる。



また、3月20日には、近畿地方に強い寒気が流れ込み、紀南の広い範囲で雹が降り、等級を著しく低下させる被害が発生している。

■ 定点調査の着果数（枝径2㍉の枝当たり）と着果率

品 種	令和6年				令和5年		平年（10年間）	
	着果率	着果数	前年比	平年比	着果率	着果数	着果率	着果数
小 梅	16.0%	58	44%	48%	36.0%	130	33.0%	120
古 城	4.2%	13	42%	57%	9.3%	31	7.2%	23
南 高	9.4%	23	44%	53%	19.2%	53	15.3%	43
在来系	2.9%	14	16%	27%	18.1%	88	14.3%	51

2. 4月10日時点の定点調査の実肥りは、小梅 12.7mm（平年比 89%）、古城 16.9mm（平年比 86%）、南高 20.1mm（平年比 96%）と小梅・古城は平年よりやや小さく、南高は平年並みとなった。
3. 4月11日梅部会まとめの生産予想量は、小梅 471 トン（前年比 67%、平年比 63%）、古城 243 トン（前年比 65%、平年比 51%）、南高 14,311 トン（前年比 70%、平年比 67%）、在来系 224 トン（前年比 58%、平年比 52%）を見込んでいる。
4. 本年産の青梅販売方針は、計画的安定出荷を基本に作柄と降雹被害を踏まえ、卸売会社との連携により事前企画を強化し、市場青梅販売計画数量 2,005 トン（前年比 67%）を目標として取り組む。
5. 3月中旬以降、降水量は前年・平年と比べ多かった。

月 旬	平均気温 °C				降水量 mm			
	6年	5年	4年	平年	6年	5年	4年	平年
3月中旬	10.1	13.2	14.4	11.3	82.5	50.5	40.0	39.0
3月下旬	12.9	14.8	12.6	12.1	118.0	48.5	62.0	41.5
4月上旬	15.8	15.1	13.5	13.9	64.0	48.5	2.5	42.2

南紀白浜気象データより